

特定非営利活動法人アスクネット

2019年度 年次報告書

年表

法人年表

1999年
愛知私学教育ネットとして事業開始

2001年
愛知市民教育ネットに改名
特定非営利活動法人
(NPO法人) 格取得

2003年
経済産業省
市民活動活性化モデル事業
高校生のための情報誌『S-ch.001』
(後の『Schan』) 創刊
※現在休刊中

2006年
アスクネットに改名

2015年
第5回キャリア教育アワード経済産業
大臣賞受賞

2017年
5カ年の中期ビジョン開始

事業年表

1999年 教育イベント支援スタート

2000年 愛知私学関連事業開始

2001年 市民講師ナビ事業開始

2004年 文部科学省 地域子ども教室推進事業(安城まちな学校)

2005年 日本たばこ産業株式会社助成事業「中高生のための社会起業家ナビ」
経済産業省 地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト
(瀬戸キャリア教育) (再委託)

2006年 教育CSR事業開始
アイシン精機株式会社「アイシン青少年環境教育事業」
経済産業省 チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト
(大学生実践型インターンシップ)
高浜市「たかはま夢・未来塾」

2008年 経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター
育成・評価システム開発事業(中核コーディネーター)

2009年 経済産業省
キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業
(研修プログラム作成・実証事業)
愛知県 ふるさと再生雇用基金人材育成コーディネート推進事業

2010年 高校生公募型インターンシップ
マイチャレンジインターンシップ 開始
内閣府 地域社会雇用創造事業
ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト

2014年 愛知県 キャリア教育コーディネート人材育成事業

2015年 高浜市 学習支援事業
安城市 健康都市推進アクションプラン

2016年 名古屋市 学習支援コーディネート事業
愛知県 キャリア教育コーディネーター活用事業

2017年 大府市 大府市学習支援コーディネート事業
岐阜県 池田町 コーディネート事業

2018年 教育関係者向け研修会「ENGINE」開催
次世代リーダー育成プログラム「アスキミキャンプ」実施

2019年 私立高校探究プログラム 開始
名古屋市 高校生世代に対する学習・相談支援事業

事業戦略（ミッション、事業一覧）

-アスクネットの使命・ミッション-

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが

「学び合い育ち合う共同体づくり」を進める。

そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。

これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

-事業一覧-

対象者	事業内容	企業数	学校数	参加人数	その他	対象事業名
小学生	環境学習	11社	31校	2,594人		教育CSR事業
小・中学生	ものづくり講座	16事業所	47校	2,986人	愛知県内全域	行政委託事業 (愛知県)
小・中・高校生	社会人講話	231名 (講師)	68校	16,809人		市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業
中・高・大学生	学習支援 (中・高) 学習支援ボランティア (大学生)			104人 123人	高浜市と大府市の 学習支援事業合計	学習支援事業
高校生	インターンシップ	のべ 1140事業所	65校	3,149人	公募型32校、 学校独自型33校 (私立17校 公立16校)	市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業 公募型高校生インターンシップ事業
大学生	社会人講話		2大学	160人	キャリアデザインなど	市民講師ナビ事業
教員	教員研修会		34校	34人	キャリア教育推進	キャリア教育コーディネーター活用事業
一般市民	認定キャリア教育コーディネーター育成講座			15人	類計135名(2010年より)	キャリア教育コーディネーター育成事業
	ケンサチグランプリ他	3団体		120名	ケンサチフォーラム2019 参加市民	行政委託事業 (安城市)

※2019年度はその他の事業は実施していません。

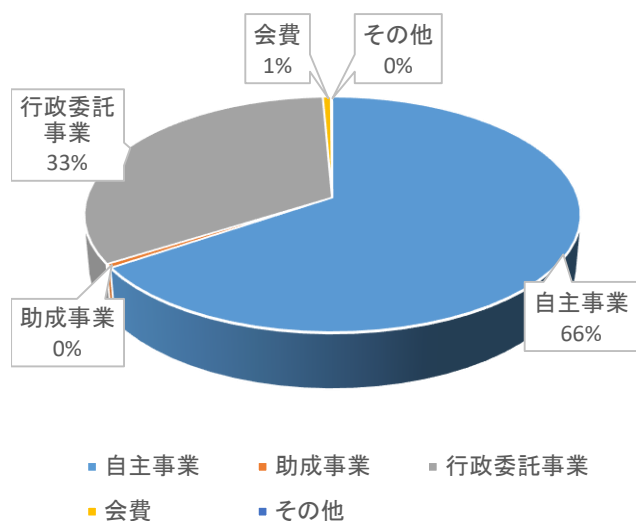
事業概況

- 2019年度事業決算 -

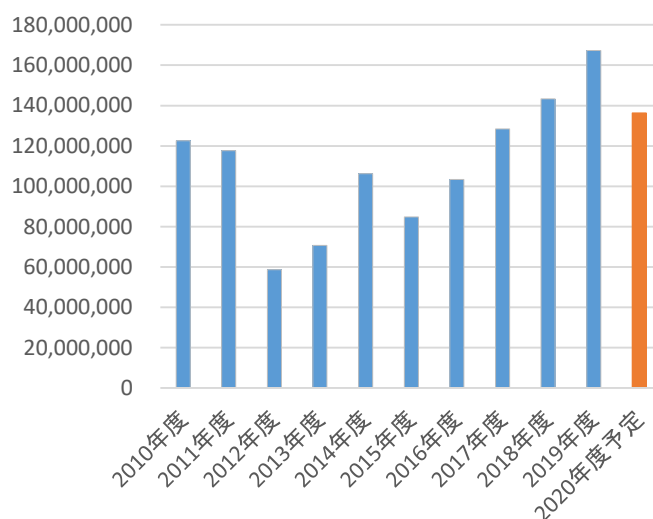
4ページ	市民講師ナビ事業	自主事業	約 8,834万円
5ページ	教育CSR推進事業	自主事業	約 1,175万円
	教育イベント推進事業	自主事業	約 187万円
6ページ	キャリア教育コーディネーター育成事業	自主事業	約 339万円
7ページ	インターンシップ事業	自主事業	約 158万円
	教育団体協働事業	自主事業	約 55万円
	出会いと挑戦の教育普及啓発事業	自主事業	約 217万円
	受取助成金（出会いと挑戦の教育普及啓発事業）	助成事業	約 88万円
8ページ	学習支援事業（高浜市委託事業）	行政委託事業	約 1,567万円
10ページ	学習支援事業（大府市委託事業）	行政委託事業	約 764万円
11ページ	学習支援コーディネート事業（名古屋市委託事業）	行政委託事業	約 449万円
12ページ	キャリア教育コーディネーター活用事業（愛知県委託事業）	行政委託事業	約 1,253万円
13ページ	モノづくり魂浸透事業（愛知県委託事業）	行政委託事業	約 386万円
14ページ	安城市ケンサチグランプリ推進支援事業	行政委託事業	約 300万円
13ページ	池田町キャリア教育コーディネート事業	行政委託事業	約 22万円
11ページ	名古屋市高校生巡回支援事業	行政委託事業	約 819万円
	会費	会費	約 101万円
	その他	その他	約 16万円

計 約16,728万円

- 事業財源内訳 -



- 事業規模推移 -



-市民講師ナビ-

年々プログラム体験生徒や実施校が増える本事業ではあるが、プログラムの質やアスクネットへの期待も変化してきている。特に新学習指導要領に向けた探究的学びを踏まえたプログラムのニーズが高くなり、インターンシップに探究的な要素を踏まえるなどの実践が増えている。その傾向は社会人講座にも現れており、これまで多く開催してきた職業講話だけでなく、仕事を通じた社会課題解決などをテーマにした探究的な講座も実施された。

私立高等学校インターンシップ実施状況

17校 1,575名の生徒が
インターンシップ体験活動を実施

【2019年度実施校】

愛知黎明高校、市邨高校、誠信高校、聖霊高校、同朋高校、南山高校女子部、椋山女学園高校、高蔵高校、愛知淑徳高校、東海学園高校、安城学園高校、岡崎城西高校、豊橋中央高校、桜丘高校、黄柳野高校、豊川高校、杜若高校（計17校）

- 課題解決型インターンシップ
- 進路探究型インターンシップ
- 探究講座×インターンシップ
- PBL型学習×インターンシップ 等



小学校～高校における社会人講座実施状況

27校 延べ5,340名の生徒が
社会人講座を受講
延べ**125名**の講師が講座実施

- 定番の職業講話やマナー講座も継続実施
- 高校だけでなく中学校での社会人講座を実施
- 探究的な要素を入れた講座など新学習指導要領を意識した講座も多数実施



高等学校領域において新学習指導要領の先行実施期間に入った2019年度は、それを意識したプログラムが多く実施された。「社会に開かれた教育課程」や「主体的・対話的で深い学び」、「探究的な学び」など新学習指導要領でキーワードとなっているものは、これまでアスクネットが実践してきたものでもあり、今後学校現場で展開される教育の中心となっていくものでもある。アスクネットの存在意義が試され、そして見出すことのできる1年であった。

-教育CSR推進事業-

企業が教育に主体的に関わり、子どもたちの成長のみならず、企業も効果を生み出し、企業が積極的に教育に投資する潮流を生み出すことを目指す。事業実施にあたっては、行政など他のセクターとも連携。2006年度から継続して実施している「アイシン環境学習プログラム」をさらに発展させるとともに、これまでの実績をPRし、他企業や関係講師、実施校教員との連携を強化し学習効果の最大化を図った。

環境学習（2019年度）

31校 2,594名 の児童に
年間プログラムを実施

- 行政とも連携し、アイシングループ・11社の事業所のある15市町で実施
- 近隣地域の小学校で環境教育を通じて将来の担い手となる児童の育成をはかる
- 小学3～6年生を対象に森・水辺・くらし・産業からテーマを選定
- 支援企業一覧
アイシン精機株式会社、アイシン高丘株式会社、
アイシン化工株式会社、
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、
アイシン・エーアイ株式会社、
株式会社アドヴィックス、アイシン機工株式会社
アイシン辰栄株式会社、アート金属工業株式会社、
シロキ工業株式会社、豊生ブレーキ工業株式会社



2006年度から累計

351校 29,325名 の児童が受講

2016年度より愛知県環境部と協働で実施している「愛・シンフォニーコース」は、4年目を迎え、小学校におけるカリキュラムマネジメントへの支援に引き続き貢献している。

児童における環境や地域社会への意識や継続的な取組みを狙った本活動の中でも、中心的な講座である「愛・シンパシーワークショップ」においては、教員からの満足度は高く、各校での主体的で対話的な深い学びの授業運営に寄与している。

ーキャリア教育コーディネーター育成事業ー

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、キャリア教育コーディネーター育成講座を実施した。学校や児童生徒の状況も理解し、教員と共に学びのねらいを考えた上で、効果的なプログラムを学校に提供するために、座学と実践の両面から研修を実施している。

2019年度受講者

エントリーコース受講者 **35** 名（冬コース含む）

実践コース受講者 **15** 名

■キャリア教育基礎講座 兼 育成研修説明会

第1回：生徒の主体性をはぐくむ「深い学び」の実践とは
(21名参加)

第2回：「学び」を通じたまちづくり・人づくり
(17名参加)

■エントリーコース（4日間にわたる座学研修）

第1回：キャリア教育コーディネーター概論

第2回：学校組織・子どもの現状

第3回：地域で行うキャリア教育・教育行政

第4回：プロジェクトマネジメント・プログラム開発・
教育CSR

■実践コース

協力校5校において、職業講話のコーディネートを実践した。

2010年より、講座受講者数
累計

135 名 キャリア教育の理解・普及に貢献している。



今年度のキャリア教育コーディネーター育成研修は、例年開催している夏開催に加え、名古屋市のキャリアナビゲーターの方に向けた冬開催の研修も実施した。夏の研修では学校教員、キャリアコンサルタント、企業のCSR部門の方等、様々な背景をお持ちの方が参加され、年間を通じて過去最高の受講生数となった。

また、教育プラットフォームの創設を目指し、昨年度より始まった「ENGINE」については、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み中止となったが、来年度はさらに厚みを持った形で実施をしたいと考えている。

-インターンシップ事業-

2010年度から学校の実情に関係なく、愛知県内のどの学校の生徒でも挑戦できる、公募型インターンシップ「マイチャレンジインターンシップ」を実施し始めた。現在は自主事業として実施。本年度も一般社団法人アスバシに資金協力を受け、協賛企業を中心にインターンシップを受け入れていただいた。春は昨年引き続き、航空宇宙産業にしばった「春のマイチャレンジインターンシップ2020」を一般社団法人アスバシと愛知県が共催で企画。新型コロナウイルスの影響で受入事業所が10社から2社まで減少したものの、参加したい意欲的な生徒は多く、協力団体としてプログラムのコーディネートを行った。

◆2019年度・夏

愛知県内の高校生 **25校 74名** が、
2～5日間のインターンシップに参加

◆2019年度・春

「春のマイチャレンジインターンシップ2020
～航空・宇宙産業編～」には

2 事業所に **7** 校 **8** 名の生徒が参加。



■累計（2010年度から）**717名**
の高校生が参加

■マイチャレンジインターンシップ報告会
には**85名**が参加



高校生、大学生、教員、受入事業所、保護者、一般市民が参加するインターンシップ報告会では、代表生徒がインターンシップでの成長エピソードを発表した。参加した誰もが高校生の可能性に触発され、高校生と大人との交流も加速した。報告会終了後には、様々な大人が懇親会にも参加し、アスクネットの活動を広げる機会ともなった。報告会ではマイチャレンジインターンシップのOB・OGが大学生として司会を務めるなど、活躍の場が広がっている。 ※企業協賛を中心とした「一般社団法人アスバシ」とからの資金協力にて実施

-学習支援事業（高浜市委託事業）-

高浜市在住の生活困窮世帯に属する小学生を対象とした学習等支援事業「ステップ・ジュニア」、中学生・高校生を対象とした学習等支援事業「ステップ」を実施している。対象児童・生徒は、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯、その他困窮のリスクが高い児童・生徒（母子・父子親家庭、不登校、特別支援学級、著しい学習遅滞等）とし、ステップ・ジュニアは毎週木曜日と土曜日に、ステップは毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で学習支援教室を実施している。ステップ・ジュニアでは児童の学習支援は地域支援員と高校生ボランティアが主に行い、宿題等を取り組む“学習タイム”と、楽しみながら学べる“講座タイム”を実施。ステップでは生徒の学習支援は大学生ボランティアが主に行い、学習の支援と、生徒のキャリア教育のため、月1回程度、社会人や大学生による講座や、生徒自身によるイベントの実施等を行っている。また、高浜市のボランティア団体が昼食の支援を行っている。

【ステップ】

2019年度

55回 **45名**の中・高生が
学習支援教室に参加

■参加生徒

・延べ**816名**の生徒が参加

・1回当たり約**14.8名**

■昼食支援

・利用生徒延べ**564名**

・1回あたり約**10.3名**

・登録支援団体**15団体**

■学習支援ボランティア

・学習支援ボランティアの活動者数**44名**

・参加人数のべ**415名**（見学・体験の数も含む）

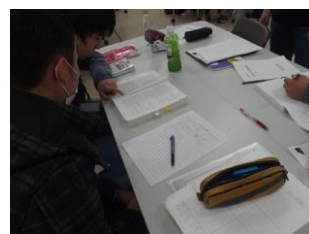
・1回あたり約**8.1名**

・チャレンジサポーター定例会**3回**実施

■イベント・研修会

・生徒向けイベント延べ**25回**実施

・学習支援ボランティア向けイベント延べ**5回**実施



—学習支援事業（高浜市委託事業）—

【ステップ・ジュニア】

2019年度

96回 **15名**の小学生が
学習支援教室に参加



■参加児童

・延べ**678名**の児童が参加

・1回当たり約**7.1名**

■昼食支援

・利用児童延べ**364名**

・1回あたり約**6.7名**

■学習支援ボランティア

・高校生 学習支援ボランティアの参加人数**27名**

・参加人数延べ**121名**（見学・体験の数も含む）

・地域支援員 学習支援ボランティアの参加人数**3名**

・参加人数延べ**62名**

■講座

・南部まちづくり協議会による講座**11回**

・アスクネット実施講座**84回**



高浜市学習等支援事業では、「ステップ」（中学生・高校生対象）と「ステップ・ジュニア」（小学校4～6年生）と、小学校から高校までの一貫した支援体制を構築している。ステップ・ジュニアでは、地元の高校のボランティア部や地域団体との連携を更に強化し、美術館や図書館等地域資源の活用や地域の方の畑での農作業にも取り組んだ。ステップでは、地域市民を講師として招いた講座の実施や学習支援に関わる市民を招いたクリスマス会の開催などを行った。日々の学習支援教室や小中高合同イベント等を通して、中高生が小学生の面倒を見たり、小学生の宿題を手伝ったりという連携が生まれている。また、今年度からステップを卒業し、社会人や大学生となってチャレンジサポーターとして活動する卒業生もあり、一層地域が一体となって子どもたちを支える取り組みが広がっている。

-学習支援事業（大府市委託事業）-

大府市の委託事業として中学生に対する学習支援事業を実施した。市内の4か所の公民館を会場として、約60名の登録生徒に対する支援を行った。大府市内外の地域スタッフが運営責任者として教室運営を行うとともに、自立化に向けて地域の実情に合わせたビジョンやミッションを話し合い構築した。

■実施回数

- ・横根公民館 40回
- ・東山公民館 37回
- ・長草公民館 42回
- ・森岡公民館 41回

合計 **160回**

■登録生徒数

- ・横根公民館 13名
- ・東山公民館 20名
- ・長草公民館 12名
- ・森岡公民館 14名

合計 **59名**

■参加生徒 延べ人数

- ・横根公民館 213名
- ・東山公民館 419名
- ・長草公民館 243名
- ・森岡公民館 279名

合計 **1154名**

■学習サポーター

- ・学習サポーター **79名** (体験含む)

- ・各会場1回当たりの人数平均 **3.4名**

- ・延べ **538名**

■イベント

全公民館合計で **11回** 実施

読書感想文講座、英語講座、中学3年生向け高校進学に関する講座、クリスマス会などの4館合同交流、地域の方との交流 など

※2月・3月に予定していたイベント等は、新型コロナウイルス感染症拡散予防対策のため中止とした。

■研修会・情報交換会・自立化に向けた勉強会

運営責任者・学習サポーター対象の研修会・情報交換会等を実施

運営に関する事項を話し合った他、運営責任者が月に一度勉強会を実施し、事業の自立化に向けてビジョン等を話し合った。



3年目となり、運営の体制も整い、学習にかかるイベントや地域交流にかかるイベントなども充実してきた。また、学習サポーターの登録人数が昨年度と比較して倍増した。至学館大学の1年生をはじめ、地元大府市内の大学生も増加した。さらに、運営責任者が中心となって、自立化に向けて勉強会を行い、地域の実情に合わせたビジョンやミッション等を話し合うなど、2年後の自立に向けた土台ができつつある。

－名古屋市学習支援コーディネーター事業－

(名古屋市委託事業)

2018年度に続き、家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかった。

また、2019年度から新たに「高校生世代に対する学習・相談支援事業」が始まり、主に学習支援事業を利用したことがある高校生世代の生徒を対象に、進路や学校、家庭などの幅広い相談支援を行った。各学習支援会場をキャリア支援や相談支援の実績を持つ相談支援員が巡回し、各会場年間3回程度の相談支援を行った。

なお、本事業においては、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行った。

学習支援受託業者27事業所

全**150**教室の生徒たちの運営に関するサポートおよびコーディネーションを実施

- 事業実施責任者 研修会・連絡会 2回
- 運営責任者 研修会 1回
- 学習サポーター 研修会・交流会 4回
- 学習サポーター基礎講座 1回
- 事例報告会 1回



「高校生世代に対する学習・相談支援事業」
全**389**回、延べ**735**名の中学生・高校生に対する相談支援を実施

- 150会場のうち140会場で実施
- 面談実施人数 735名
- 針路探し講演会 1回
- 面談支援員 23名



2019年度も引き続き、27事業者が全150会場（定員1800名）で学習支援を実施した。アスクネットは2018年度に引き続き、学習支援の運営関係者や学習サポーター等を対象とした研修の実施を担当し、延べ386名が参加した。講演形式だけでなく、参加者同士の意見交換や情報共有に重点を置いた研修の運営を行った。また、高校生世代への学習・相談支援事業では、23名の面談支援員が、合計389回の面談を実施し、延べ735名の中学生・高校生の相談支援を行った。

ーキャリア教育コーディネーター活用事業ー

(愛知県委託事業)

愛知県教育委員会より指定を受けた県立高等学校16校をモデル校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで、モデル校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「社会人講師によるキャリア教育に関する講座の企画・運営」、その他指定校におけるキャリア教育の支援を実施した。

■事業の内容

＜インターンシップ＞

県立高等学校16校をモデル校とし、インターンシップ等体験活動のコーディネートを実施

※2019年度モデル校：

熱田高等学校、守山高等学校、西春高等学校、五条高等学校、横須賀高等学校、東浦高等学校、武豊高等学校、内海高等学校、碧南高等学校、知立東高等学校、三好高等学校、豊野高等学校、足助高等学校、加茂丘高等学校、蒲郡東高等学校、御津高等学校

＜社会人講座＞

普通科／総合学科を設置する県立高等学校113校に対し、社会人を活用した講座のコーディネートを実施



■モデル校の生徒 **1,492**名が
1～5日間のインターンシップ等、体験活動に参加

■社会人講師 延べ **106**名による講座を、**41**校
で**135**講座実施 延べ**11,469**名に
自己の生き方在り方を考えるきっかけを提供



■教員研修会として、延べ**34**校 **34**名の
県立高等学校教員に対し、キャリア教育推進に
つなげる目的で研修会を実施



今年度はインターンシップ等体験活動において、昨年よりも400名近く多い、約1500名の生徒を地域に送り出した。本事業は2019年度で4年目となり、モデル校16校中14校が入れ替わったが、各校の状況やニーズに合わせてコーディネートをおこなった。豊野高等学校、蒲郡東高等学校、知立東高等学校においては、学年全員が動く大規模なプログラムとなった。受入先も約450の事業所を開拓するなど、県内のキャリア教育推進に大きく寄与することができた。

社会人講師では県内普通科・総合学科を設置する41校において135講座を行い、11,000名を超える生徒に社会人の「生の声」を届けた。

◆モノづくり魂浸透事業（愛知県委託事業）

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」を受託。2019年度及び2020年度に本県で開催する技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会に向けて、県内での技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣し、授業や課外活動等において実演披露やモノづくり体験、職業講話等を実施した。

2019年度 愛知県内の小・中学・特別支援学校

47校2,986名が、モノづくり講座に参加

■実施講座例

- ・ヤスリを使って金属を削り、モノづくりの原点手仕上げを体感（株式会社ジェイテクト 高等学園技能五輪指導者 技能五輪「抜き型」銀メダリスト）
- ・手づくりロケット教室（夢小屋代表）など



今年度は締切前に45校を大幅に超える希望が県内の小学校・中学校・特別支援学校から申し込みがあり、抽選を行い47校で実施した。参加児童生徒を対象に実施したアンケートでは「モノづくりの仕事に興味を持ちましたか？」という質問に対し、「とても興味を持った」「興味を持った」と答えた小学生は86%、中学生は88%、特別支援学校の生徒も87%を超え、本事業によって参加者がモノづくりの仕事に興味関心を持つことに繋がった。

◆池田町キャリア教育コーディネート委託事業

アスクネットで育成講座を受講した岐阜県揖斐郡池田町のキャリア教育コーディネーター2名が中心となり、池田中学校における社会人講師講座「池中15のREAL」を実施した。池田中学校の教育目標である「志をもって未来を切り拓け」に基づき、夢や志をもった大人との出会い（対話）が、自らの将来の夢や目標につながるよう、平成29年度から実施している。池田町が目指す「キャリア教育の充実」のひとつとして、将来地元で働くという選択肢が1つでも多く生まれるように、「働く大人の思いに触れる機会」を創出することを目的としている。

■参加生徒

池田中学校3年生234名

■講師

池田町在住の講師を含む15名

美容師、保育士、看護師、障がい者支援員、NGO職員など



－安城市ケンサチグランプリ推進支援業務－

第8次安城市総合計画の目指す都市像「幸せつながる健幸都市安城」の実現のため、「平成28年度健康都市推進アクションプラン策定業務」において計画策定した事業の支援を行う。

■ 仮想理事会実施

年間でのべ **7回** の（VBA：バーチャルボードミーティング）を実施

事業実施団体、企画情報課、関係所轄課、アスクネットの4つの立場から事業成果や課題を踏まえ、今後の事業方針に関する検討を行った。



■ ケンサチフォーラム2019

最終年度の成果報告として、ケンサチフォーラムを開催。「ケンサチグランプリ」で選出された3つの事業者による、3年間のプロジェクトレポートとディスカッションおよびゲストを招いての講演とディスカッションを実施。

120名 を超える方が参加。

【第1部】プロジェクトレポート

- 1) 耕し人・アグリパーク安城
『アグリパーク安城』
- 2) 株式会社スギ薬局
『安城健幸ステーション』
- 3) 快足AC・株式会社cokore
『ウォーキング・ストレッチからはじめよう☆スマイルランニング』

【第2部】ゲスト講演

「一人の社員の発案が、社会課題の解決に。」

松本まゆみ氏

ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社
北日本統括支店マネージャー



■ ケンサチ事業壮行会

ケンサチグランプリ事業者 三事業者合同事業壮行会を実施。

ワークショップを行い、3箇年の事業を振り返り、「あなたにとって、ケンサチとは何か？」という問いのもと、関係者の意見を交流した。

ケンサチグランプリで選定された3団体の活動によって、社会的な成果（休耕地の活用／運動習慣の習得／健康状態測定による健康改善）が生まれていることが確認できた。加えて、3団体の活動は、それぞれに異なる方法で今後の継続や発展の可能性が期待でき、当初の目標としていた継続性に十分に答えられる結果となった。さらに、これらの活動によって市民の間に様々な参加や協力の機会が生まれ、ケンサチが当初より掲げている「つながり・やくわり」を育み、市民の健康づくりや幸福に資すると言える結果を生んでいることが確認できた。

◆ 弊団体スタッフによる会議等対外活動実績

■ ゲスト講師

愛知大学 入門講義社会学 ゲスト講師
高浜市立南中学校 リーダー研修会 研修講師
中京大学 キャリア構想ケーススタディ ゲスト講師

■ 講演・講師

全国社会福祉協議会（厚生労働省委託事業） 自立相談支援事業従事者養成研修 研修講師
愛知県社会福祉協議会 子どもの居場所、学習・生活支援のつどい in あいち コーディネーター
愛知県社会福祉協議会 学習支援ボランティア養成講座（年8回） 研修講師
静岡県西部三市新規採用職員合同研修 研修講師
自立相談支援事業充者養成研修 研修講師

■ 委員

高浜市こども貧困対策会議 委員（高浜市福祉部）
高浜市立南中学校 学校関係者評価委員

■ 論文掲載

東海社会学会 年報第10号 市民活動報告

◆ アスキミキャンプ

- 10月5日（土）～10月6日（日） 於：愛知県青年の家
 - 3月21日（土）～3月22日（日） 於：愛知県青年の家
- 「やりたい事をカタチにする2日間」をテーマに、参加した高校生
大学生が、気になっている社会問題を見出し、実現したい社会を
見据えて行動を始める一歩を踏み出す合宿を実施した。

【講演ゲスト】

今井紀明さん（認定NPO法人D×P 代表理事）
吉野裕斗さん（一般社団法人日本教育創造機構 代表理事）
佐野哲史さん（一般社団法人復興応援団 代表理事）
稲垣享一郎さん（元高校教員）



◆ 愛知サマーセミナー

- 7月13日（土）～15日（月）
於：南山大学 南山高等学校（男子部・女子部）
南山大学付属小学校
- 「第18回教育コーディネーターフォーラム」（7月15日実施）
テーマ：「SDGsとグローバルシチズンシップと私たちの未来」
【ゲスト】

- ・ 本間正人先生（京都造形芸術大学副学長）
- ・ 辰野まどかさん（一般社団法人GIFT代表理事）
- ・ 前田有紀さん（豊田市役所未来都市推進課）
- ・ 光ヶ丘女子高等学校 高校生
- ・ 刈谷北高等学校 高校生



団体名称 特定非営利活動法人アスクネット

所在地 〒 456-0006 愛知県名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3F

連絡先 Tel: 052-881-4349 Fax:052-881-5567

代表理事 山本和男

スタッフ 城取洋二 小柳真哉 菅原伸二 肥田幹子 荒井直人 山田将人
後藤恵理香 原さおり 加藤淳子 魚川三喜 山地佳奈 二村信吾
佐々木愛理 桑原都糸子 松井彩 安藤仁美 菅野由梨 櫛谷彩乃
山本まど香 山口礎人 大谷歩 山本夢 烏田萌音 下本英津子
中野仁美 国枝宣樹 高場貴子 森聡子 金田拓真 金子雄亮

(2020年4月入職)
犬塚穂奈美 久世和賢 兼子榛奈 遠藤奈々美

<https://asknet.org/>



ASK NET